

報道関係者各位

2025 年 9 月 29 日

株式会社ラクーンコマース

【BtoB 販売動向発表】

クレーンゲームやカプセルトイの景品にまで広がる“お米需要” 「米」の仕入れ 飲食業以外の注文会員数が前年比 2.2 倍に増加

株式会社ラクーンコマース（本社：東京都中央区、代表取締役社長：和久井 岳）が運営する卸・仕入れサイト「スーパーデリバリー」は、受注額の推移や購入店舗の分析による「米」ジャンルの仕入れ動向をまとめたレポートを発表しました。



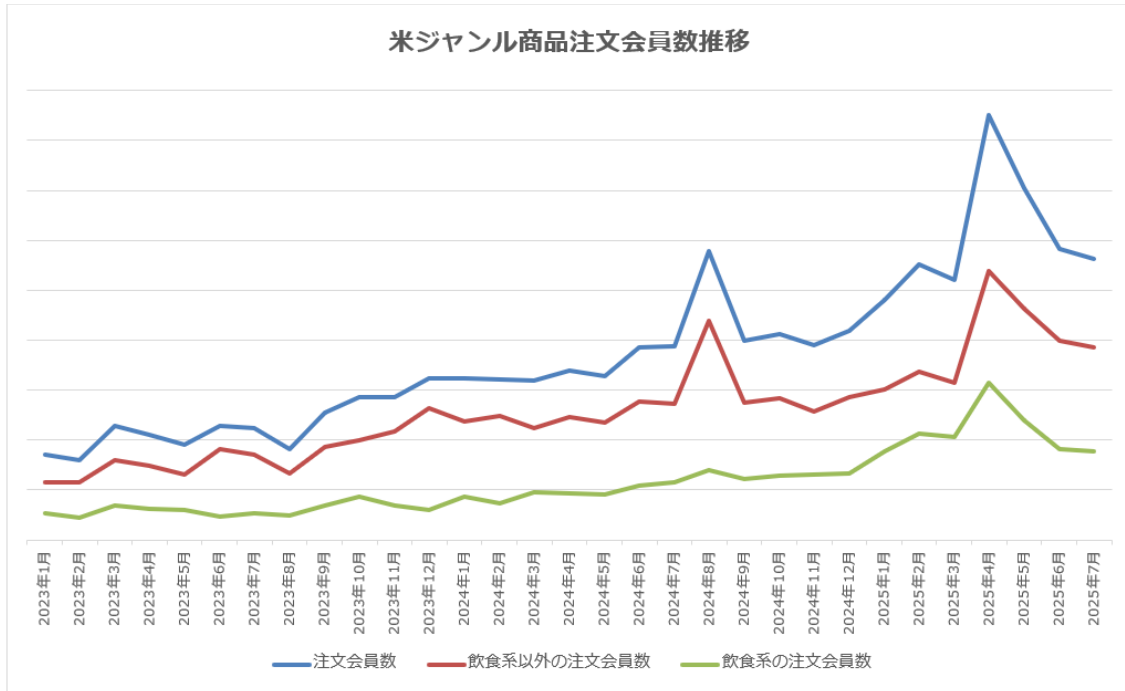
2025 年に入り、米市場は価格高騰や政府による備蓄米放出を背景に大きな注目を集めていました。特に 3 月以降の備蓄米放出と、6 月のコンビニ大手 3 社の参入、さらに農水相による相次ぐ発言を受け、米の安定供給や需要の拡大は社会的な関心事となりました。こうした市場環境の変化を背景に、約 47 万店が登録する日本最大級の卸・仕入れサイト「スーパーデリバリー」でも、**非小売業種による米の仕入れが拡大**しました。

■購買データから見る米仕入れの変化

米の仕入れが伸びた背景には、**2025 年 3 月から始まった政府の備蓄米放出**があります。特に、**第 3 回放出（4/23～25、10 万トン）**を契機にこれまでお米を扱わなかった業種からの**注文増加**がみられました。

①米ジャンルを注文した、小売以外の会員数が約 3 倍に

スーパーデリバリーでの米ジャンル商品の仕入れのピークは 4 月で、2024 年から 2025 年にかけて購入店舗数は全体で 2.5 倍に増加しました。その内訳としては、飲食業の購入店舗数は 3.3 倍に急増し、飲食業以外でも 2.2 倍に増加しました。



②仕入れ業種・用途の多様化

飲食業を除く業種で米を仕入れている店舗を調査したところ、理容・美容業（32.3%）、医療業（8.9%）、総合工事業（6.5%）と続いています。これまでの米のギフト需要や、健康志向の強い美容関連サロンで玄米等を物販する動きに加えて、「景品」「サービス提供」「備蓄」といった用途の多様化が進んでいます。

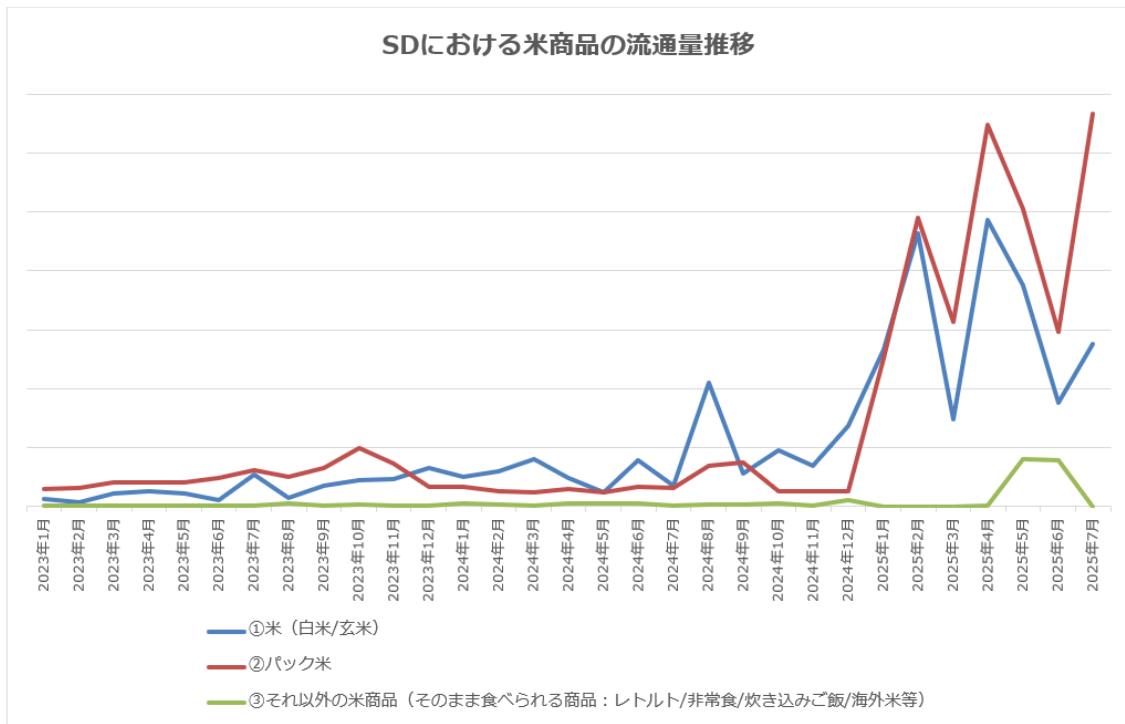
※右表：米ジャンルを仕入れている異業種（飲食業以外）の割合。上位 10 位を抜粋）

業種	割合
理容・美容業	32.3%
医療業	8.9%
総合工事業	6.5%
社会保険・社会福祉・介護事業	5.6%
専門技能サービス業	5.6%
生活関連業	4.0%
ペット関連事業	4.0%
食品・食料品・飲料	4.0%
洗濯・浴場業	3.2%
趣味学習支援業	2.4%

③半年で 110 トンの米が流通

（2025 年 1 月～7 月）

2025 年 1 月～7 月の合計販売量は約 110 トンとなりました。2025 年の上半期には、国産ブレンド米は一部商品で注文個数が前年比 8.5 倍、パックご飯も約 4.5 倍に増加。仕入れ価格が 2019 年比で約 3.4 倍^{*1}に上がるなか、**クレーンゲーム専門店、リサイクルショップ、薬局や修理業者など従来米を扱わなかった業種にまで広がっています。**



■販売事例

●クレーンゲーム専門店：「お米が UFO キャッチャーに！？」

2025 年 5 月末よりスーパーデリバリーを通じて米の仕入れを開始。米高騰化を背景に、クレーンゲームの景品として導入しています。10 個パックをそのままクレーンゲーム機に設置したところ、週末のファミリー層を中心に人気を集めています。

●リサイクルショップ：「ガチャガチャでパックご飯」

ご飯パックを 1 個単位に分けて、ガチャガチャの景品として提供しています。2025 年 6 月から 7 月にかけては数百点発注しました。

●薬局：「備蓄食ではなく日常食に」

備蓄用のおすすめ商品として「アルファ化米」を店頭で販売しています。利用客は高齢者が多く、中には「災害用備蓄食としてではなく日常の食事として活用している」ケースも想定され、米高騰化やパックご飯の利便性から、備蓄だけでなく日常利用へと用途が広がりつつあります。

* 1: スーパーデリバリー仕入れ価格動向レポート

2025 年 1 月～3 月 <https://www.raccoon.ne.jp/news/press/2025/9281062229>

2025 年 4 月～6 月 <https://www.raccoon.ne.jp/news/press/2025/5254986479>

■参照

スーパーデリバリー <https://www.superdelivery.com>

メーカーと小売店やサービス業などの事業者が取引する卸・仕入れサイトです。商品掲載数は約 199 万点。メーカーにとっては、地域を超えた 47 万店舗への販路拡大ツールとして効果を発揮し、小売店にとっては 3,200 社を超える出展企業とインターネットを通して取引でき、仕入先を大幅に拡大することが可能です。またコストや手間、リスク等を解消し効率的な取引を実現します。第 1 回日本サービス大賞にて地方創生大臣賞を受賞。（数字は全て 2025 年 7 月末時点）



株式会社ラクーンコマース

代表者：代表取締役社長 和久井 岳

所在地：東京都中央区日本橋蛸殻町 1 丁目 14 番 14 号

設 立：2018 年 11 月

資本金：300,000 千円

株 式：株式会社ラクーンホールディングス 100%
（東京証券取引所プライム市場上場 証券コード 3031）

U R L：<https://www.raccoon.ne.jp/commerce>

本件に関するお問合せ先

広報担当 大久保

MAIL：pr@raccoon.ne.jp

サービスに関するお問合せ先

スーパーデリバリーサポートデスク

https://www.superdelivery.com/p/content/s/guide/help/help_form.jsp